

手をつなごう。さらに広げよう! 28年の歩み

2020年(令和二年)10月10日発行

# Linkage Magazine

# Musashino & Brasov

2020年度 第2号 (通刊127号)

発行: 武蔵野ブラショフ市民の会

理事長 大橋 一範

SINCE 1992

## 理事長からのお知らせ

### ① ブラショフからの研修生受け入れ

ブラショフからの研修生受け入れは、時節柄、新型コロナウイルス拡大が収まらない現状に鑑み、2020年度内の実現は困難と判断されます。したがって、残念ながら、本プロジェクトは明年度(2021年4月以降)に改めて検討されることになるとの予定です。

### ② むさしの国際交流まつり中止について

当会も毎年参加しているむさしの国際交流まつりですが、やむなく今年は中止になりました。会報で、これまでのMIAまつり参加の様子をまとめてみましたので、ご一読ください。

まつりが再開されましたら、お手伝い等ご協力をお願いいたします。

### 目次

- ◆ 理事長からのお知らせ ①ブラショフからの研修生受け入れ ..... 1
- ◆ ②むさしの国際交流まつり中止について ..... 1
- ◆ ホストタウン情報・在ルーマニア日本国大使館からのご案内 ..... 2
- ◆ 読売新聞社からの取材 ..... 4
- ◆ 大橋理事長 「週刊さちじょうじ」創刊45周年を迎えて 講演 ..... 4
- ◆ パンフルートについて  
特別寄稿 日本ルーマニアパンフルート協会会長 櫻岡 史子  
..... 5
- ◆ 武蔵野ブラショフ市民の会の歩み むさしの国際交流まつり編 ..... 6
- ◆ ルーマニア語教室のお知らせ ..... 8
- ◆ お詫びと訂正・当会への問い合わせ ..... 8

## ホストタウン情報・在ルーマニア日本国大使館からのご案内

ルーマニアホストタウン事業推進実行委員会事務局の武蔵野市市民部 多文化共生・交流課より、オリンピック・パラリンピックのサポーターに【ホストタウン情報】が8/28に届けられました。在ルーマニア日本国大使館がルーマニア人を主な対象としてルーマニア語で大使館のフェイスブックに掲載したものを【ホストタウン情報】に流したものです。

この度、多文化共生・交流課と在ルーマニア日本国大使館殿のご好意により、当会の会報にも掲載させていただくことになりました。

和訳は、在ルーマニア日本国大使館の関谷美緒さんです。関谷美緒さんは、学生時代に当会にコンタクトがあった方とのこと。当会とルーマニアとの深いつながりを感じます。 （文責 藤田）

Dragi prieteni,

Cu părere de rău, Jocurile Olimpice și Paralimpice de la Tokyo de anul acesta au fost amânate. Dar, în perspectiva organizării lor anul viitor, am dori să începem să vă prezentăm de astăzi orașul Musashino, care va găzdui delegația oficială a României.

Cu ocazia Jocurilor Olimpice și Paralimpice de la Tokyo, autoritățile locale însărcinate cu promovarea schimburilor interumane, economice și culturale cu țările sau regiunile participante la JO, au acceptat să găzduiască delegația națională a unei anumite țări, pe perioada de pregătire premergătoare JO și au desfășurat activități de promovare a schimburilor dintre Japonia și țările respective, în cadrul proiectului "oraș-gazdă" al unei delegații naționale.

Ne-am bucura foarte mult dacă această serie de informații ar fi pentru Dumneavoastră o ocazie de a cunoaște orașul Musashino din Tokyo, înfrățit cu orașul Brașov, precum și schimburile culturale și colaborările dintre acestea.

皆さん、こんにちは！

残念ながら、今年の東京オリンピック・パラリンピックは中止になってしまいましたが、来年の開催に向けて、本日より、ルーマニアナショナルチームのホストタウンである東京都武蔵野市の紹介を始めたいと思います。

東京オリンピック・パラリンピックでは、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体が、特定の国のナショナルチームの事前キャンプ等の受入をして日本とルーマニアの交流を促進する「ホストタウン事業」を行っています。

このシリーズが、ブラショフとの友好都市でもある東京都武蔵野市とその交流の取り組みについて知っていただく機会になれば幸いです！

## 【Conexiunea cu România 2020 - 1】

Bună ziua din partea oraşului Musashino.

Oraşul nostru a susţinut cu toată puterea România, încă din anul 2016, când a fost desemnat drept oraş-gazdă al delegaţiei oficiale a României.

La baza legăturii oraşului Musashino cu România se află muzica. Maestrul Daisuke Soga, originar din oraşul Musashino şi fost dirijor al Orchestrei Simfonice a Filarmonicii Braşov, a solicitat oraşului Musashino sprijin pentru această Orchestră, iar în anul următor, 1992, Orchestra Simfonică a Filarmonicii Braşov a fost invitată în Japonia, unde a susţinut un concert. Acesta avea să devină începutul legăturilor de prietenie dintre cele două oraşe, prietenie care a continuat fără încetare până în prezent. Aceste legături au fost recunoscute şi au făcut ca oraşul Musashino să fie desemnat oraş-gazdă al delegaţiei oficiale a României.

Cu sprijinul Ambasadei Japoniei în România dorim să vă transmitem şi de acum înainte informaţii despre oraşul Musashino şi despre iniţiativele sale în calitate de oraş-gazdă a delegaţiei oficiale a României la Jocurile Olimpice şi Paralimpice de la Tokyo.

Vă rugăm să ne urmăriţi în continuare!

## 【ルーマニアとつながる2020①】

はじめまして。東京都武蔵野市です。

武蔵野市は、2016年にルーマニアのホストタウンとして登録されて以来、東京2020大会にむけてルーマニアを全力で応援しています。

武蔵野市とルーマニアの交流のきっかけは、音楽でした。ルーマニア・ブラショフ市に本拠を置く国立交響楽団の指揮者であった武蔵野市出身の曾我大介氏が楽団への支援を武蔵野市に要請し、その翌年の1992年に招聘が実現、コンサートを開催したことがきっかけで交流がはじまりました。こうして、武蔵野市とルーマニア・ブラショフ市は1992年から友好交流を続けてきました。

その取り組みが認められ、ルーマニアのホストタウンとして登録されました。

今後は、日本大使館さまのご協力のもと、武蔵野市の紹介やホストタウンの取り組みを発信していきます。どうぞお楽しみに！

武蔵野市は、2020東京オリンピック・パラリンピックでルーマニア国の『ホストタウン』です!!!

☆☆☆ 問合せ先：武蔵野市役所 市民部 多文化共生・交流課

☎ 0422-60-1806 (直通)

ホストタウン事業推進実行委員会より

**武蔵野市のホストタウンWEBサイト、新規公開のお知らせ！**

サイト名称：「ルーマニアホストタウンムサシノ」

[http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi\\_guide/sports/olympic\\_etc/romania\\_hosttown/index.html](http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/sports/olympic_etc/romania_hosttown/index.html)



## 読売新聞社からの取材

9月16日に発足した菅内閣に望む都民の声が、読売新聞17日付朝刊 都内版に掲載されました。当会、藤田理事が取材を受けましたので、お知らせいたします。

なお、著作権の関係で掲載記事の写真は添付出来ませんが、取材内容の趣旨は下記のとおりです。

武蔵野市はルーマニアのホストタウンに登録されており、同国のブラショフ市とは市民の交流が続けられています。そして、「武蔵野ブラショフ市民の会」は、ホストタウン事業には積極的に協力しています。

昨年1月に、ルーマニアから柔道と卓球のパラリンピック選手が強化試合で武蔵野市を訪れたときにも、選手団と市民の皆さんとの交流イベントの運営を手伝いました。

藤田琢磨理事（81）は、「菅首相が積極的に前面に出て、海外との交流を強めてほしい」と要望しました。

## 2019.1.20「ホストタウン交流フェス」



ヨシベル・タティアナ駐日ルーマニア大使のご挨拶

## 大橋理事長 「週刊きちじょうじ」創刊45周年を迎えて 講演

10月3日、吉祥寺村立雑学大学で週刊きちじょうじ創刊45周年（創刊1975年3月）を祝って、当会大橋理事長の特別講演が定会場の二葉ファッションアカデミーでありました。花束贈呈、続く各フェエローのエール。

「一人で45年発行し続けるという偉業」「これからは、年齢との闘い」等々固い絆で結ばれている雑大フェロー達の心意気を感じさせるセレモニーでした。

贈呈される色紙には、「生涯現役、ご健康でご活躍ください」との邑上市市長の寄せ書きも！

配布されたプリント「週刊きちじょうじの歩み」をふまえ、武蔵野市のメディア部門との関りや、日々革新されていった印刷技術の話題に交じり、当会結成時（1992年9月）のエピソードにも触れていただきました。当会の誕生は、若き指揮者曾我氏のジョルジュ・ディマ交響楽団招聘への働きかけに起因していることから、「G.DIMA 交流記」を出席者に回覧。今では事務所所蔵一冊のみの超レアな本とのことでした。

また、「週刊きちじょうじ」には、貴重な誌面を割いて、折に触れ当会の活動状況をレポートしていただきました。ルーマニアのブラショフ市と市民レベルで交流してきた当会の生き字引ともいべき大橋理事長。

創刊50周年は、2025年です！！

（佐々木）



## パンフルートについて

特別寄稿 日本ルーマニアパンフルート協会会長  
櫻岡 史子

パンフルートの歴史は、古代ギリシャ時代に遡ります。ギリシャ神話に登場する牧神パンの楽器として知られており、世界最古の管楽器と言われています。パイプオルガンやハーモニカのご先祖様とも呼ばれ、古代より現在まで、ほとんど形を変えることなく、今に伝わっています。葦や竹などで作られた楽器は、素朴で美しい音色を奏でることができ、人々を魅了してきました。ルーマニアでは古くから民族楽器（NAI）として大切に守られてきました。

世界で最も有名なパンフルート奏者にゲオルゲ・ザンフィル氏（Gheorghe Zamfir）がいます。巨匠ザンフィル氏の演奏をきっかけに、広く世界に知られるようになりました。ザンフィル氏はパンフルートについて「パンフルートの最初の奏者は風である」と述べています。

昨年の夏にブカレストでザンフィル氏に初めてお会いしました。パンフルートの音色と同じように、優しく温かく風のような爽やかさを感じました。生きる伝説とも言われる巨匠とのひと時は、人生において忘れることの出来ないかけがえのない宝物です。



写真：ブカレストにて  
ゲオルゲ・ザンフィル氏とともに



ザンフィル一弟子にラドゥ・ネキフォル氏（Radu Nechifor）がいます。ネキフォルは、フォルクローレ、クラシック、ジャズポップス、ロックなど様々な音楽ジャンルで演奏し、パンフルートの新たな可能性を広げました。

写真：ラドゥ・ネキフォル氏より提供

日本には奈良時代に伝来し、排簫（はいしょう）と呼ばれています。奈良時代から平安時代までは演奏されていましたが、その後は姿を消してしまいました。日本では、昨年の5月に日本ルーマニアパンフルート協会を設立し、日本パンフルートフェスティバルやワークショップなどパンフルートの普及活動を行っています。いつかパンフルートを知らない人がいない日本・世界にすることが夢なのです。

## 武蔵野ブラショフ市民の会の歩み

## MIA まつり編

当会は MIA（武蔵野市国際交流協会）が毎年秋に開催している「むさしの国際交流まつり」に参加しています。このまつりは、1994 年から開催されているそうです。

東京近郊在住の方や東京外国語大学、早稲田大学などの留学生、当会の招聘生など多数のルーマニア人の方が、講師としてワークショップに参加してくださっています。

また、会場準備には、近隣の大学生ボランティア等にお世話になっています。

2010 年には、ルーマニア大使館文化担当のアンドレア・ブクナルさんが来場くださいました。

会場奥のワークショップステージでは、パワーポイントを使ったり、クイズ形式にしたり、ミニ・ルーマニア語会話教室を開いたり、母国の魅力が存分に伝わるように工夫を凝らした各講師のルーマニア紹介が行われました。

会場のブースでは、当会招聘研修生の活動やルーマニア紹介のパネル展示、パンフレットを配布、また料理上手な女性会員の協力を得て、時に「ルーマニアフルーツ・ティとサラタ・デ・ヴィネテ（焼きナスをペースト状にし味付けしたもの）のカナッペ」、時に「ルーマニアフルーツ・ティとお菓子のセット」やルーマニアの民芸品を販売し、収入は会の活動資金として計上してきました。

今後まつり参加の機会がありましたら、これからもご協力をお願いいたします。

ワークショップの講師として活動してくださった方々の写真をピックアップしました。

2011.11.20（ステファナ樋口さん）



2012.11.18

（2012年度研修生  
アリス・クレアンガさん）



2013.11.17（ステファナ樋口さん）



2014.11.16

（アナさんと2010年研修生イリナ・クリスタリイさん）



2015.11.15 2016.11.13 2017.11.12

(ポパ・ミハイさん)



2018.11.3 (アンドレ・ワナさん)



2019.11.17 (山田エリーザさん)



写真提供：大橋事務所

### 会員の皆さまへ： 入会御希望の方へ：

会費は、会報紙の発行や「会」事業の補充金として使われています。  
 年会費を納入していただくことで、更新および加入手続きは完了します。  
 会費納入は下記へお振込み頂くか、お近くの理事までお願い致します。

(入会金・不要。 会計年度は 4月～翌年3月です)

◎：2020年度 年会費： **2,000円** 賛助会員： ー□ 5,000円

◎： ゆうちょ銀行から振り込むとき

記号 10190 番号 16976301

◎： 他の金融機関から振り込むとき  
 ゆうちょ銀行

店名 〇ー八 (ゼロイチハチ)  
 店番 〇18  
 預金種目 普通預金  
 □座番号 1697630  
 名前 ムサシノブラショフシミンノカイ



振込先が  
 変更になりました！





## ルーマニア語講座

### 吉祥寺で開催している会話講座です

2020年東京オリンピックでルーマニアのホストタウンとなった武蔵野市。

多くの注目を集める中、会ではルーマニア語だけではなく、現地の習慣や伝統、文化などのお話し、ゲストを招き交流なども行っています。アットホームな雰囲気で見学もできますので、初心者の方でも気軽にご参加いただけます。

(会場は、変更の時もあります。)

- ◆日 時：毎月第1・第3水曜日 13:00~15:00
- ◆場 所：御殿山コミュニティセンター tel:0422-48-9309
- ◆参加費：2回分 2,000円 (月単位払い)
- ◆問合せ先：「会」E-mail musashino\_brasov2020@yahoo.co.jp
- ◆講 師：山田エリーザ (ルーマニア  
トゥルゴヴィシュテ出身)



#### 【当会への問い合わせ】

- \* 「会」E-mail アドレス : musashino\_brasov2020@yahoo.co.jp
- \* 「会」ホームページ : <http://musashinobrasov2020.g2.xrea.com/>
- \* 連絡先 : (Fax) 0422-46-9666  
(Email) kichijoji@tokyo-net.ne.jp (当会 理事長 大橋 一範)  
〒180-0003 武蔵野市 吉祥寺南町 1-4-1 井の頭ビル7F

(編集) 佐々木・藤田 (協力) 大橋事務所 加藤 (志)